2026年11月6日

各　位

会 社 名　神鋼商事株式会社
代表者名　代表取締役社長　　髙下　拡展
（コード：8075　東証プライム市場）
問合せ先　総務部長　　石川　武祥
（TEL：03-5579-5201）

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2026年８月６日に公表いたしました第２四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じました。また、通期連結業績予想について修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

併せて、本日開催の取締役会において、2026年９月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正を下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年３月期 第２四半期（中間期） 連結業績予想と実績値との差異
（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高 （百万円）	営業利益 （百万円）	経常利益 （百万円）	親会社株主に帰属する中間純利益 （百万円）	１株あたり中間純利益 （円 銭）
前回発表予想（Ａ）	350,000	6,700	6,300	4,600	174.06
当期第２四半期実績（Ｂ） （2027年３月期第２四半期）	352,632	8,284	7,879	6,905	261.30
増減額（Ｂ－Ａ）	+2,632	+1,584	+1,579	+2,305	－
増減率（%）	+0.8%	+23.6%	+25.1%	+50.1%	－
（ご参考）前期第２四半期実績 （2026年３月期第２四半期）	292,751	5,273	5,783	4,073	154.20

２．2027年３月期通期連結業績予想数値の修正

（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高 （百万円）	営業利益 （百万円）	経常利益 （百万円）	親会社株主に帰属する当期純利益 （百万円）	１株あたり当期純利益 （円 銭）
前回発表予想（A）	706,000	13,500	12,500	9,500	359.48
今回修正予想（B）	706,000	14,800	14,000	10,000	378.00
増減額（B－A）	－	+1,300	+1,500	+500	－
増減率（%）	－	+9.6%	+12.0%	+5.3%	－
（ご参考）前期通期実績 （2026年３月期）	608,142	11,577	11,022	8,286	313.65

３．修正の理由

当中間連結会計期間の業績につきましては、AI・データセンター需要を背景とした半導体分野の伸長や、脱炭素・エネルギー関連の機械需要が好調に推移したことに加え、国内外のグループ会社における収益力の向上等により、前回発表予想を上回る結果となりました。

第３四半期以降についても、これらの事業環境が概ね継続すると見込まれることから、通期の連結業績予想を上方修正いたします。

４．剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

（１）剰余金の配当（中間配当）の決定内容

	決　定　額	直近の配当予想 （2026年８月６日公表）	前　期　実　績 （2026年３月期）
基　準　日	2026年９月30日	同左	2025年９月30日
１株当たり配当金	70円00銭	69円00銭	53円00銭
配当金総額	1,859百万円	－	1,408百万円
効力発生日	2026年12月７日	－	2025年12月８日
配　当　原　資	利益剰余金	－	利益剰余金

（注）配当金の総額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

（２）2027年３月期 期末配当予想の修正

	１株あたり配当金（円）		
基準日	第２四半期末	期　末	合　計
前回発表予想	69円00銭	69円00銭	138円00銭
今回修正予想		70円00銭	140円00銭
当期実績	70円00銭		
前期実績（2025年３月期）	53円00銭	53円00銭	106円00銭

（注）上記の配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当は、今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

（3）修正の理由

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つに位置付けており、財務健全性を維持しつつ、事業展開に必要な内部留保等を考慮しつつ、配当方針を「連結配当性向 30%以上、または1株あたり配当 100 円のいずれか高い方とする」とし、安定的な配当を継続していくことを基本方針としております。

上記方針に基づき、直近の業績推移と経営環境を総合的に勘案した結果、上記のとおり中間配当額を決定するとともに期末配当予想を修正いたします。

以　上